

■ 本市におけるOJTの取組事例紹介

大分市教育センターでは、令和3年度において実施後受講者アンケートに特設の質問を設け、本市における校内OJTの取組を把握した。その中から特長的な取組を行っている学校に対し、OJTに係る調査・研究を行い、OJTの効果などを含めた取組状況等について情報収集し、大分大学教育学部の協力を得ながら、よりよい校内OJTの在り方や具体的な取組等について検討を行ってきた。今年度は、以下のOJTの取組の中から3校の取組等について報告する。

■研修に係る取組

○豊府小学校 「メンター研修の実施」

■授業力向上に係る取組

○長浜小学校 「授業改善宣言シートの活用」

■組織編制等の工夫に係る取組

○鶴崎中学校 「各主任に中堅教員等を配置」



■ 「チームリーダーに中堅教員等を配置」(鶴崎中学校)

【取組に至った背景】

- ・若手教員の増加やベテラン教員の退職等、職場において、今後中堅教員等が学校の中で中核的な役割を果たし、リーダーシップを発揮していくことが大切になってくる。その際、学校組織もトップダウンのチームではなく、ミドルダウンのチームを充実させていくことが望まれる。鶴崎中学校においては、学校組織のメンバー構成やチームについて見直しを行い、中堅教員等がより自己の使命を自覚していけるような取組を始めた。

【取組の概要】

- ・全教職員の共通理解のもと、学校の重点目標に関わる分掌主任を中心としたチームを組織した。五つのチームのリーダーに、中堅教員等を各分掌主任として配置し、4～5名のメンバーでチームを構成した。メンバーの選定については、チームリーダーが行った。4月中に、チームリーダーを中心に、定期的にチーム会議をもち、1年間の方針等を決定し、5月から全教職員の共通理解のもと、実際の取組を進めていった。

■ 「チームリーダーに中堅教員等を配置」(鶴崎中学校)

【鶴崎中五つのプロジェクトチーム イメージ図】

鶴崎中
学校経営計画

鶴崎中 五つのチーム

- 1、学力向上チーム(チームW)・・・**チームリーダー**、研修部 + α
- 2、心育てチーム(チームS)・・・**チームリーダー**、生徒指導部 + α
- 3、地域連携チーム(チームO)・・・**チームリーダー**、生涯学習部 + α
- 4、小中連携チーム(チームI)・・・教務、授業力向上アドバイザー + α
- 5、サポートチーム(チームA)・・・教頭、主幹教諭 + α

【総括】
主幹教諭

■ 「チームリーダーに中堅教員等を配置」(鶴崎中学校)

【取組の成果】

- ・ チームリーダーやチームの重要なポスト等に中堅教員等を配置し、適宜、管理職等から声掛けを行うことで、教員自身の職務に対する意欲が向上した。
- ・ 若手教員と中堅教員等がチームでの活動等を通してつながりを深めることができた。特に、若手教員が中堅教員等の活躍する姿を近くで見る機会が増えたことにより、若手教員の学びが深まった。
- ・ 中堅教員等が責任あるポストにつき、その職責を果たすことが、中堅教員等の自信につながり、学校全体の活性化につながった。
- ・ チームが少人数で構成されており、一人一人が自分の思いや考えなど、本音で語り合うことができた。

■ 「チームリーダーに中堅教員等を配置」(鶴崎中学校)

【より効果的な取組に向けて】

◆ 管理職によるプロジェクト支援

例えば・・・

- ・ プロジェクトの目標設定と評価の支援
プロジェクトに取り組むことによって、授業・業務改善の効果を実感できるようにするためには、管理職による環境作りなどの支援が不可欠である。
- ・ 中堅教員と若手教員のメンター制度の導入
単純にプロジェクトを導入すると、中堅教員と若手教員の間には仕事を与える、与えられる関係を構築させてしまう恐れがある。プロジェクトを共有するチームとして、メンター制度を導入することで、組織としての教員の成長が期待できる。